

震災にあつて

川口町

泉水小学校 六年 広井啓太

ぼくは、一番最初の地震が起きた時、学習センターにいました。地震が起きた時、最初は普通の地震に停電が少し重なっただけだと思ひました。なぜなら、学習センターには補助の電気があつたのを知らなくて、すぐ電気が復旧したと思つたからです。でも外に出てもかなりおどろきました。家は停電、地面は割れてうきあがり、電灯が少し消えかけていました。でもおどろいてはひまはありませんでした。二回目の地震が起きたのです。二回目の時は、外に出ていたのでゆれをすごく感じました。でも母が学習センターの近くにいたのでほっとしました。

そして、この後どうしようか悩んでいると、いっしょにいた健太さんを健太さんのお父さんが迎えに来たので、ぼくたちも健太さんのお父さんの車についていきました。国道十七号線は、道がもうがたがたで車が通るスペースがほぼありませんでした。でもがんばってむりやり通つて家に着き、その夜は家の車庫で寝ました。

学校が再開したのは、自衛隊の人から支援物資が届くようになってからです。その時は、まだ水道・下水道・ガスのどれも復旧していませんでした。でも電気が復旧してました。家は地下水を使うことができたのでよかったです。

学校は最初、午前中だけで終わりでした。でも一週間くらいたつと、五時間目までやることになりました。

そしてまた一週間くらいたつと、水道と下水道が復旧しました。でもガスはなかなか回復しませんでした。ガスの管がどこで割れて

いるかわからなかったからです。でも三週間くらいたつとやっと復旧しました。

今はもう仮設住宅もできてあまり不便ではない生活を送っています。だいたいいつもの生活にもどれたと思ひます。よかったです。

ぼくが今、感謝したい人は地域の人です。地震の起きた日、食べ物を分けてくれました。そして次の日もみんな食べ物をもつてきてあつて、なべやかまも持つてきてくれてご飯を食べることができました。みんなががんばっていたので、ぼくはおにぎりをみんなに配つていきました。みそ汁も次の日からは、作つてくれました。こういうことをしてくれた地域の人に感謝したいです。

ご飯を作つてくれたり、風呂を作つてくれたりした自衛隊の人にも感謝したいです。